

第3期経営改革実施計画書 令和5年度個別計画

令和5年4月1日現在

団体名	公益社団法人金沢ボランティア大学校						代表者職氏名	理事長 八重澤美知子				
組織の状況			令和3年4月1日時点			令和4年4月1日時点			令和5年4月1日時点			(注1) 常時勤務する役員は「役員等」にのみ計上 (注2) 「役員等」には評議員を含む (注3) 「常勤」職員とは正規職員を、「非常勤等」職員とは嘱託、非常勤、臨時等を指す
			常勤	非常勤等	計	常勤	非常勤等	計	常勤	非常勤等	計	
	役員等の数		0	15	15	0	15	15	0	15	15	
	(人)	うち市職員	0	2	2	0	1	1	0	1	1	
		うち市OB	0	5	5	0	6	6	0	6	6	
	職員数		1	5	6	1	5	6	1	5	6	
	(人)	うち市職員	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
うち市OB		0	3	3	0	3	3	0	3	3		
財務の状況			令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度決算		令和5年度予算		/	
	総収入額		22,434 千円		22,787 千円		22,697 千円		28,403 千円			
	総支出額		22,434 千円		22,787 千円		22,697 千円		28,403 千円			
	差引収支額		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
	総資産額		19,113 千円		19,391 千円		20,761 千円					
	総負債額		1,378 千円		1,656 千円		3,026 千円					
	正味財産額		17,735 千円		17,735 千円		17,735 千円					
市からの財政支出	委託料		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
	補助金等		21,393 千円		21,605 千円		21,544 千円		27,191 千円			
	その他		30 千円		30 千円		30 千円		30 千円			
	合計		21,423 千円		21,635 千円		21,574 千円		27,221 千円			
令和5年度の主な事業	自主事業	事業名		事業内容				予算額		効果等見込 (利用者数見込)		
		講座開設		社会的ニーズの高い分野におけるボランティアを年間を通じて育成				2,822 千円		200 人		
		ボランティア教養講座		セミナー、フォーラム、オープンキャンパスの開催				350 千円		160 人		
		ボランティア活動支援		メール配信、ボランティア大学校フェスタ、出前講座の開催等				610 千円		1,205 人		
		開校30周年事業		開校30周年記念講演等				800 千円		300 人		
								千円		人		
	(指定管理施設を含む) 受託事業	事業名		事業内容				予算額		効果等見込 (利用者数見込)		
								千円		人		
								千円		人		
								千円		人		
								千円		人		

改革に向けた 令和5年度の 具体的な取組	<p>1 社会的ニーズに即したボランティア人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的状況の把握 外部有識者、講座講師、市関係課、会員団体及び関係機関から聴取した情報に基づき、コース設定、カリキュラム内容を不断に見直し充実を図る。 → 情報を聴取し、10月以降にコース、カリキュラムを見直す。 <p>2 修了生に対するボランティア活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員団体、市関係課、関係機関（市民活動サポートセンター、石川県NPO活動支援センター、石川県・金沢市ボランティアセンター等）との連携を強化し、「ボランティア募集情報一覧表」の充実を図る。 → 2月に「ボランティア募集情報一覧表」を発行 受講生と修了生団体・グループ、市民活動団体とが交流する機会を増やし、受講生、修了生がボランティア活動に取り組みやすい環境をつくる。 → ボラ大フェスタ、修了式、同窓会活動で交流を図る。 → 2月に「自主グループ新規会員募集情報一覧」を発行 → 自主グループ立ち上げ説明会の開催 → 自主グループの「学生のまち市民交流館」利用支援 ボランティア情報等のメールを修了生団体・グループ、組織に属していない修了生に配信 → 1月にアンケートを実施し希望者からメルアドを聴取し、メールを送る。 <p>3 ボランティア活動への更なる理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンセミナー・キャンパス、ボランティアフォーラム、出前講座、ボラ大フェスタ等実施をメディア、チラシ等で強力にPRする。 ホームページやフェイスブックでセミナー等実施をPRするとともに同窓会、自主グループ等のボランティア活動の取り組みを発信 → ホームページ、フェイスブックを頻繁に更新する。 <p>4 新型コロナウイルス感染拡大対策（5類移行を踏まえて）</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講人数の制限（35名→30名）の緩和等、受講生及び事務局にとって安心安全な環境をつくる。 → 令和5年度は、オンライン授業の実施継続
----------------------------	---

成果指標		計画目標値 (令和5年度末)	令和5年度目標値
社会的 ニーズ 等に 即した	長期講座（講座開設事業）受講者数	280人	240人
	長期講座受講者の修了率	85%以上	85%以上
	修了生のボランティア団体等への加入率	0.38	0.38
修了生 活動 に対する ボラン	関係機関との連絡会	年1回	年1回
	ボランティア大学校フェスタへの自主グループ、関係機関の参加	20団体	20団体
	修了生あてボランティア情報等メール配信者数の増加	285人 (85+@40×5年)	285人 (85+@40×5年)
理解 促進 ボラン ティア 活動 への	セミナー、フォーラム、オープンキャンパスへの一般参加者数	セミナー 50人 フォーラム100人 キャンパス 80人	セミナー 50人 フォーラム100人 キャンパス 80人
	ボランティア大学校フェスタ、出前講座、受講者数	フェスタ2,000人 出前講座 100人	フェスタ2,000人 出前講座 100人

成果指標
(実施計画の
達成度を測る
ための指標)
及び目標値等